



平成18年2月8日

各 位

会 社 名 三菱レイヨン株式会社
代表者名 取締役社長 皇 芳之
(コード番号3404 東証・大証第1部)
問合せ先 広報・IR室長 立林 康巨
(TEL. 03 - 5495 - 3100)
会 社 名 三菱化学株式会社
代表者名 取締役社長 富澤 龍一
問合せ先 広報・IR室
(TEL. 03 - 6414 - 3730)

ダイヤニトリックス株式会社の株式異動について

三菱レイヨン株式会社(本社:東京都港区、社長:皇 芳之)と三菱化学株式会社(本社:東京都港区、社長:富澤 龍一)は、両社の持分法適用会社であるダイヤニトリックス株式会社の両社の持ち株比率を本年4月1日をもって65:35(現行50:50)に変更することに合意いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

三菱レイヨン株式会社は、アクリル系事業体(MMA[メタクリル酸メチル]系及びAN[アクリロニトリル]系)をコア事業とし、アクリル系事業体を、グローバルに展開し、世界ナンバーワンの事業体にするを目標としています。この度、ダイヤニトリックス株式会社を連結子会社とすることにより、最重要子会社の一つとして一体運営を行い、AN系事業の基盤を拡大・強化するとともに、ダイヤニトリックス株式会社の持つ触媒事業、ポリマー事業の競争力と収益力を更に強化して参ります。

一方、三菱化学株式会社は、中期経営計画「革進 - Phase 2」(2005/4~2008/03)に基づき、成長・飛躍に向けて重点分野事業への積極的な資源投入を推進しています。石油化学事業におきましても、重点分野事業(テレフタル酸、ポリプロピレン、フェノールチェーン、C4ケミカルズ)へ経営資源をシフトする事業ポートフォリオ戦略を通じて、石化事業全体のさらなる成長を目指しており、この度のダイヤニトリックス株式会社の株式異動もその一環です。しかしながら、AN系事業は、今後も石化事業全体を支える大切な事業の一つと位置付けており、持ち株比率の変更後も、合併パートナーとして、ひきつづきダイヤニトリックス株式会社の運営、発展に貢献して参ります。

記

1. 異動の概要

三菱レイヨン株式会社は、ダイヤニトリックス株式会社の発行済み普通株式の50%を所有しておりましたが、三菱化学株式会社が所有するダイヤニトリックス株式会社の株式の15%を取得することにより、平成18年4月1日の時点で持ち株比率が65%となります。よって、平成18年度より、ダイヤニトリックス株式会社は、三菱レイヨン株式会社の連結子会社となります。

2. 異動する会社の概要

- (1) 商号 : ダイアニトリックス株式会社
- (2) 代表者 : 取締役社長 齋藤 晃司
- (3) 所在地 : 東京都中央区京橋1 - 12 - 5
- (4) 設立 : 平成13年7月2日
- (5) 事業内容 : AN、アクリルアミド、ポリアクリルアミド等の製造、販売
- (6) 決算期 : 3月31日
- (7) 従業員数 : 370名(平成17年3月31日現在)
- (8) 事業所等 : 水島工場、大竹工場、黒崎工場、横浜工場、富山工場、技術研究所、
技術センター、西日本営業所、北陸営業所
- (9) 資本金 : 20億円
- (10) 業績(平成17年3月期)
 - 売上高 391億円
 - 営業利益 38億円
 - 経常利益 39億円
 - 当期純利益 23億円
- (11) 総資産 : 159億円

3. 異動の日程

平成18年4月1日

4. 異動株式

- (1) 異動前の株式
 - 三菱レイヨン株式会社 20,000株 50%
 - 三菱化学株式会社 20,000株 50%
- (2) 異動後の株式
 - 三菱レイヨン株式会社 26,000株 65%
 - 三菱化学株式会社 14,000株 35%

5. 取得(譲渡)金額 48億円

6. 業績に与える影響

本件が三菱レイヨン株式会社・三菱化学株式会社のそれぞれの平成18年3月期の連結決算の業績に与える影響はありません。なお、平成19年3月期以降の連結決算の業績に与える影響については、その影響が分かり次第発表いたします。

以上